

Eサポ! WEEKEND ENGLISH SUPPORT IN NUMAZU



実施内容

地域の中高生を対象に、バイリンガルな暁秀高校の生徒が英語を教えるボランティアレッスン
第2、第4金曜日18時～19時半 年間20回開催

- 5月11日 Introduction
- 5月25日 Writing letters/e-mails to friends
- 6月8日 Pronunciation
- 6月22日 Role play
- 7月13日 Short speech:
“What are you doing this summer?”
- 9月14日 Idioms / slang / texting (informal English)
- 9月28日 Essay 1 中学生: “Should homework be banned?”
高校生: “Does the Internet bring out our life better?”
- 10月12日 Games (rotate as groups)
- 10月19日 Halloween tongue twisters (pronunciation)／於:プラサヴェルデ
- 11月9日 Article discussion1／於:沼津商工会議所
- 12月7日 Pronunciation/ listening／於:COLORIDO
- 12月9日 沼津ライオンズクラブ「千本賞」 受賞式参加
- 12月21日 X'mas songs
- 1月11日 Article discussion 2
- 1月25日 Short debate
- 2月8日 バレンタイン特集 “Real life situation: LOVE”告白～別れまで
- 2月22日 Essay 2 “What can we do to revitalize Numazu?”
→ Scrapbook of all the student's essays
- 3月8日 Essay 2のrevision
- 3月22日 パーティー

本講座の特徴

学生同士で学び合うから楽しい!

年代、学校を越えた
地域の学生コミュニティができる!

無料なので、習いたくても通えない学生の
サポートにつながる→地域の英語力を底上げ!

実施効果

学生同士の学びの場であることから、中学1年生から高校2年生までが同じテーブルにつき、学校間、年齢の壁を越えた交流ができた。また留学中のバイリンガル卒業生も夏休み中に参画してくれたことで、参加者が少し先の将来について見聞きでき、これまで知ることのなかった選択肢を視野に入れたり相談できたりと、ビジョンが広がる経験をするができた。

スタッフ自体がこの活動を楽しみ、前向きに課題を乗り越えることができた。そのことによって、自分たちの「やりたい」をどう叶えていくのか、問題にどう向き合っていくのかを実践的に学び、より主体性をもった未来の創造が図られた。ビジネスコンテストへの挑戦、継続させるための次世代スタッフの発掘など、Eサポの活動を通じて、先を見て今すべきことを行動に移す、という実践ができた。地域の人材育成という側面からも実りの大きな活動だと感じる。

今後に向けて

- ・スタッフが代わり、創立メンバーとはまた違うレッスン運営をすることとなる。その中で、Eサポに対する参加者の要望を拾い上げ、より英語レッスンのスキルアップを図りたい。
- ・レッスンをする人、受ける人、というだけでなく、Eサポに集う学生が、Eサポの運営を感じることで、地域に向けて積極的に関わる土壌づくりをしていきたい。
- ・スタッフの人数が増えたこともあり、より多くの参加者に来場してもらえるように運営スキルを上げていきたい。

